

「伝統文化の継承！」



本校校区、高志地区には、高志狂言が伝承されています。200年以上も前から受け継がれ、佐賀県重要無形民俗文化財にも指定されています。過去の資料を探ってみると、平成12年から希望する子供たちが狂言に取り組んでおり、20年以上も続いていることとなります。

今年も、6年生6名、5年生3名が希望し、高志神社、神崎市文化祭、そして本校内の3つの舞台で披露することとし、すでに、校内を除く二つは終了し、各方面の方々からお褒めの言葉を戴いています。伝統を引き継いでくれたことに、心から感謝の気持ちを贈ります。



上の写真が、高志神社奉納の折の写真（6年Aグループ）。下の写真が、神崎市文化祭での一幕です（6年Bグループ）。なお、校内での披露（5年グループ）は、11月18日実施予定です。

神崎市教育週間

11月1日は、“神崎市教育の日”。7日までの一週間を、“神崎市教育週間”と位置づけ、本校では、1日にフリー参観を実施しました。久々の授業参観、如何でしたでしょうか？



次回の授業参観は、年明けの1月25日の予定ですが、それまでにご心配なこと等ありましたら、遠慮無くご相談頂ければと思います。

～三位一体～

私ごとですが、10月下旬のとある日、子供たちと会食しました。その折の話題の一つに“価値観”の話がでました。“海に住む生物が、人間の出すプラごみ等で傷つき絶命しているなんて耐えがたいよね”等と、親子の意見が一致。さすが、DNAは繋がっている(*^o^*)。

実は、その翌日が神崎市クリーン作戦デー。自宅近くの田手川沿いを約1時間回りましたが、大きなゴミ袋があっという間に一杯に。そのほとんどが土に返らないプラスチック。ふと川面を見ると、数羽の水鳥の側をペットボトルが浮遊する光景が。大雨が降れば、土手に捨てられたプラスチックごみが、有明海へと流れるんだなあ。湖人先生が、この光景を見られたら、どんなに嘆かれることだろうか。やるせない気持ちで一杯になりました。

でも、諦めたらダメ！大切なのは、教育ですよね、教育！家庭で、地域で、学校で！三位一体で子供たちの心を育てて参りましょう！



